

# 平成 17 年度ホタテガイ採苗情報（第 2 報）

平成 17 年 5 月 6 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝は少ない状況です。」

## 1 ラーバの出現状況

5 月 2 日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200  $\mu$ m 未満が 22 個/トン、200  $\mu$ m 以上が 8 個/トンと、前回調査時（合計 36 個/トン）とほぼ同じ値でした。

なお、調査時の水深 10m 層の水温は 8.5 と、前回調査時より 0.4 上昇し、平成 9 ~ 16 年の平均値とほぼ同じ値となっています。

## 2 試験採苗器による付着稚貝調査

5 月 2 日実施の調査において、釜石と大船渡地区で付着稚貝が確認されました。

しかし、付着数は何れの定点でも 10 個/袋以下と少ない状況です。



図 調査点と付着稚貝調査結果

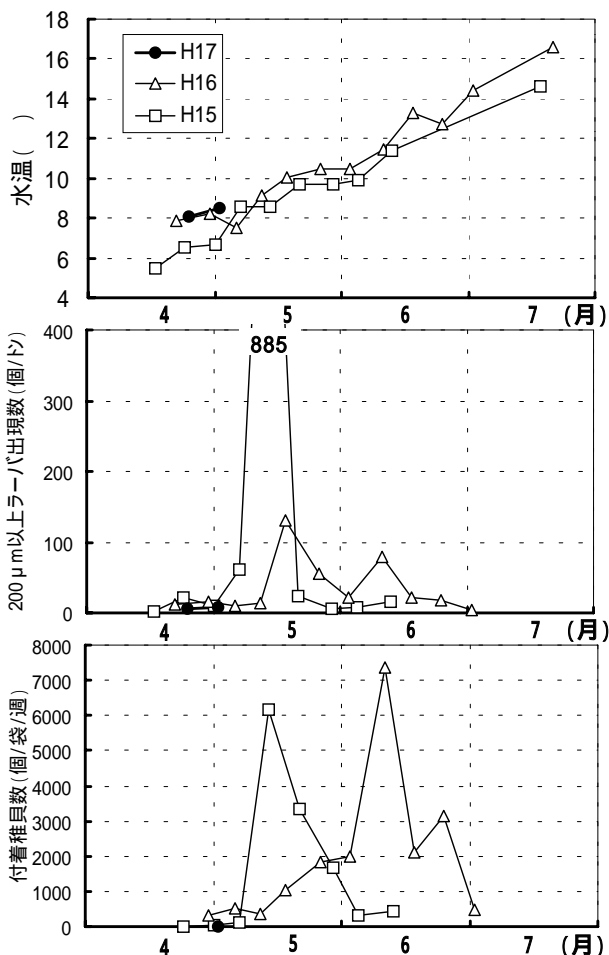


図 唐丹湾における水深 10m 層水温とホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、大型のラーバが確認されています。

しかし、試験採苗器への付着稚貝数は少なく、水温もまだ低い状況にあることから、採苗器の投入適期ではないと考えられます。

次報は、5 月 12 日頃発行する予定です。